



昨年6月に雨引小学校で市内3校目となるICT技術を用いた英会話交流事業が開始

さらに「教育支援センター」を活用した教育相談の充実を図り、不登校・ひきこもり問題の解消に努めてまいります。

また、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地として、市民とともにモングール射撃選手団をおもてなしし、スポーツの魅力を発信してまいります。

●文化財の保存活用
国指定天然記念物の「桜川のサクラ」の土壌調査などを行い、ヤマザクラの保全管理に努めてまいります。また「真壁の町並み」や「真壁城跡」



市民の安全を守る市消防団による出初式

●農林業の振興
農業生産基盤の整備、経営感覚に優れた農業者の育成などを推進し、地産地消の拡大に努めるとともに、農産物のブランド化を進め、観光産業と連動した魅力ある農業のPR活動を推進してまいります。

●交通安全対策の推進
交通安全施設の整備や道路の危険個所の解消に努めるとともに、関係機関と連携・協力し、市民の交通ルールや交通マナーの向上に努めてまいります。

●商工業の振興
経営が安定し、経済活動が活発になるよう、ビジネスマッチングによる販路拡大、地域資源を活かした商品開発の支援、商工会と連携した経営支援を行ってまいります。

また、市の地場産業である石材業については、市内外の石材関係団体と連携を図りながら、石材製品の市場や販路の拡大を推進してまいります。

一方、企業誘致については、進出企業に対する税制上の優遇制度、市内の遊休地情報を発信するとともに、周辺道路の整備など企業の立地しやすい環境を整え、新たな雇用の確保ができるよう企業誘致を推進してまいります。

令和2年3月3日～16日の会期で開催された、第1回桜川市議会定例会で、令和2年度の市政運営に向けて、大塚市長が施政方針を述べました。
 本月号で、その概要をお知らせします。
 なお、令和2年度予算の概要については、来月号に掲載します。



桜川市長 大塚 秀喜

●子育て支援の充実と少子化対策の推進
安心して子どもを産み、子育てができる環境をつくるため、多様なライフスタイルに対応し、保護者のニーズに沿った子育てと、就労の両立を支援するため「放課後児童対策事業」「ファミリーサポートセンター事業」「子ども・子育て支援交付金事業」を行ってまいります。

また、経済面の支援策として、本年度から「出産祝い金」の支給や第3子以上に対する「給食費の無料化」を行うとともに、引き続き「教育・保育施設等利用者負担額軽減化事業補助」「子どものための教育・保育給付事業」「新入学児童へのランドセルの支



地域医療の基盤となる「さくらがわ地域医療センター」

●障がい者福祉の充実
障がいのある人およびその家族が住み慣れた地域で、安心した生活を送ることができるよう、相談支援体制の充実を図り、適切な福祉サービスが受けられるよう支援してまいります。

●高齢者福祉の推進
「地域包括支援センター」を中心に、在宅介護サービスや施設サービスの充実を図ってまいります。

●社会保険制度の健全運営
国民健康保険制度の安定化を図るため、県が財政運営の責任主体となつて市町村とともに運営することになりました。今後も、関係部門が連携しながら、特定健診の受診率向上や保健指導に取り組み、医療費の抑制を図るとともに、保険料の収納率向上に努めてまいります。

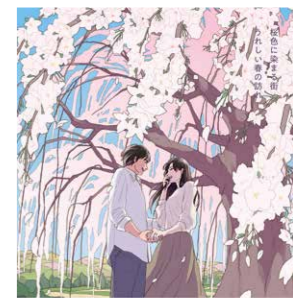
●学校教育の充実
次世代を担う児童生徒たち

CONTENTS

- 02 令和2年度施政方針
- 05 市組織機構変更/寄付寄贈
- 06 まちの話
- 08 行政情報/市内小学校の統合 多田尚克さんが北極星勲章を受章
- 09 ヤマザクラ通信 vol.14
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 ホストタウン NeWS vol.4 SAKU スポ vol.1

表紙

桜川の春



表紙は、市商工観光課で作成した、桜川市観光PRポスター「桜川の春」です。
 桜川磯部稲村神社の糸桜を中心に、背景には山桜が自生する里山が描かれています。
 四季の中でも、特に桜川の魅力が詰まった季節である「春」を鮮やかに表現したものとなっています。

桜川市の人口と世帯

【人口】	39,459人	(-139)
【男】	19,564人	(-83)
【女】	19,895人	(-56)
【世帯】	13,732世帯	(-67)
	()	は対前月増減
	常住人口	
	令和2年3月1日現在	



ナショナルサイクルルートに認定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」

●観光の振興

国の名勝指定の「桜川のサクラ」や、多数の登録文化財を有する「真壁の町並み」、多くの観光客が訪れる「雨引観音」などの歴史・文化資源とともに、新たな地域資源である「ヤマザクラ」や「筑波山地域ジオパーク」などを活用し、各方面から観光客が訪れやすい誘導策を講じてまいります。

また「つくば霞ヶ浦りんりんロード」については、桜川市の顔となる始発点のJR岩瀬駅前への拠点整備をはじめ、市内ルートの環境整備を展開してまいります。

さらに、市内に自生する55万本のヤマザクラにつきましましては「日本一の本ヤマザクラの里」として全国に向け発信してまいります。

快
適な暮らしのまちづくり

●計画的な土地利用の推進

市街化調整区域における新たな土地利用制度の適切な運用と、桜川筑西インターチェンジ周辺地区における新たな都市拠点の形成を進めてまいります。

●景観の良い住環境の保全

市内全域を対象に景観法に基づき景観計画を策定するとともに、Uターン・Iターンの方に助成金を支給する「定住促進助成金制度」を継続し、民間活力による良好な住環境の形成に努めてまいります。

●道路網の整備

一級市道の整備を、国・県の補助などを活用し、年次計画に沿って順次進め、当市真壁地区と石岡市八郷地区を結ぶ「上曾トンネル(仮称)整備事業」を推進してまいります。また、市民からの要望が多い、その他の市道および排水整備については、緊急性・必要性を勘案しながら整備してまいります。

さらに、道路の補修・修繕などについては、道路の安全確保を図りながら迅速に対応

してまいります。

●公共交通の充実

新たに、公共交通の空白地域で市内巡回ワゴン運行の実証実験を行い、公共交通の充実を図ってまいります。広域連携バス「ヤマザクラGO」とあわせ、今後も市民が利用しやすい環境を整え、桜川市にふさわしい公共交通システムの構築を検討してまいります。



市の公共交通を担う広域連携バス「ヤマザクラGO」

●下水道の整備

農業集落排水事業と公共下水道事業が、今年度から公営企業会計へと移行し、下水道事業会計として一つの会計となります。

今後、更に効率的な事業運営を図り、年次計画により、供用開始区域を広げるとともに、接続率の向上を目指し、普及活動に努めてまいります。

●上水道の整備

安全でおいしい飲料水を安定的に供給するため、水質管理や老朽施設、老朽管の改善を図り、公営企業としての経営の健全化に努めてまいります。

●廃棄物の抑制と適切な処理

市民の皆様や事業所などの環境保全に対する理解と協力のもと、適正な廃棄物処理、資源ごみの再利用、リサイクルによる循環型社会の構築を進めてまいります。

●生活環境の保全

地球温暖化をはじめとする環境問題に積極的に取り組むとともに、環境保全のための市民意識の啓発に努めます。また、不法投棄や水質の監視強化に努めるとともに、悪臭や野焼き、犬のフン害などの公害苦情に対する指導強化や、マナーアップの意識啓発を図ってまいります。

みんなで築く自治のまちづくり

●市民協働のまちづくり

様々な媒体を活用し、行政情報を市民に提供するとともに、市民の意見が反映される仕組みづくりを推進し、市民と市が協働でまちづくりを進

めてまいります。

●人権尊重のまちづくり

人権について理解を深めるため、人権相談を実施するとともに、啓発・キャンペーン事業を推進し、人権意識の高揚を図ってまいります。

●時代に合った自治体運営

第2次総合計画に基づき、計画的に施策や事業を実施するとともに、行政評価により効率的・効果的な行政運営を図ってまいります。

●組織経営と人事マネジメントの充実

多様化する社会環境に対応できる組織機能の見直しを行い、効率的な行政運営と行政サービスの向上を図ってまいります。

また、職員の能力開発に努めるとともに、市民サービスの向上に向けた人材の育成を図ってまいります。

●健全な財政運営の推進

財源確保対策の推進として、納税の公平性の観点から、不良債権に対し、差押え、公売を実施し、収納率の向上を図るとともに、費用対効果を考慮し、重要度の高い事業への予算配分を行い、効果的な予算執行に努めてまいります。